

育成 見附

見附市青少年育成センター
〒954-0051 見附市学校町2-7-9
TEL 0258-62-5739 FAX 0258-62-2343
E-mail ikuseicenter@city.mitsuke.niigata.jp

見附市青少年育成センター 25年度の取組

6月6日(木)に開催された「見附市青少年育成センター運営委員会」で今年度の育成センターの運営について、次のように承認されました。恒例の事業を改善・充実させ、効果的に取り組んでいきます。

運営の目的

青少年の健全育成を総合的に推進する。

運営の方針

- (1) 青少年の健やかな成長を支えます。
- (2) 青少年の非行の未然防止と早期発見に努め、楽しい生活を送るためのアドバイスをを行います。
- (3) 青少年の悩みや心配事を、青少年・保護者と一緒に考えます。

主な事業

- (1) 街頭指導事業 <愛の一声で非行防止>
青少年が集まりやすく保護者や学校の目の届きにくい場所を巡回し、非行に結びつくと思われる行為に対し、愛の一声注意・助言等の適切な指導の手をさしのべ、青少年の自省を促すことで非行を未然に防止していきます。
- (2) 育成相談事業 <青少年なんでも相談>
青少年の不登校、怠学、いじめ、非行等の問題行動や悩み事に関する本人、保護者、学校職員、市民等からの相談に対し助言や相談

を行います。相談内容により、保護者の了解を得て、関係学校との連携や関係機関の紹介及び相談の委嘱を行います。

面接相談：水曜日（9時～16時）
面接場所：青少年育成センター相談室
電話相談：月～金曜日（9時～16時）

(3) 青少年育成事業

- 環境浄化活動
青少年を取り巻く社会環境について、有害環境の把握に努め、関係業者の自主規制による協力要請を行っていきます。
- 青少年育成関係機関・団体との連携
青少年育成の関係機関・団体との連携を深め、対策を協議していきます。
 - ・市立小・中学校（シェイクハンド学校訪問）
 - ・見附地区学校警察等連絡協議会
 - ・見附市子ども支援対策地域協議会
 - ・新潟県青少年育成センター連絡協議会

7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」

内閣府は、昭和54年の国際児童年を契機として、毎年7月を「青少年の非行・被害防止全国強調月間」と定め、関係省庁、都道府県、市町村、民間団体などと連携して総合的な非行・被害防止活動を展開しています。

近年、少子化や情報化、国際化などの急速な進展とともに、家庭、学校、地域等青少年を取り巻く環境も大きく変化しています。

こうした中、いわゆる出会い系サイトに関係した事件や児童虐待事件等による子どもの被害のほか、いじめの問題など、少年の非行防止、保護の両面において予断を許さない状況となっており、諸機関・団体が相互に協力しながら、地域が一体となった青少年の非行防止のための取組を進める必要があります。

7月は、全国で、国民の非行防止意識の高揚を図り、関係機関・団体と地域住民等とが協力連携して、青少年の規範意識の醸成及び社会環境の浄化などの各種取組を集中的に実施します。

当青少年育成センターは、この月間の趣旨に合わせて次の取組を実施します。◎市民の非行防止意識の高揚 ◎青少年を取り巻く社会環境の浄化 ◎地域における青少年育成活動の推進 ◎いじめ・暴力行為問題への取組強化ほか。

ご理解・ご協力をお願いします。

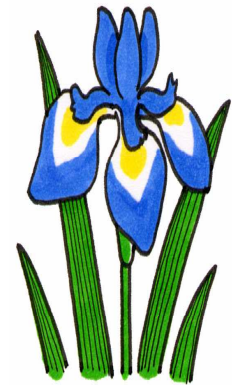
街頭指導に携わる方々を紹介します

街頭指導事業を推進して下さる「見附市青少年指導員」の皆様は次の27人です。7班編成で市内各所を巡回し、青少年に愛の声掛けをします。近年は、出会う青少年から明るいあいさつをもらい、育成活動に熱が入ります。よろしくをお願いします。

(敬称略 ◎印は班長)

1班	◎高橋美佐子	清水芳夫	菊池 毅	北村直樹
2班	◎親松 巖	関口光弘	早田浩延	渡辺和広
3班	◎遠藤春枝	中澤高雄	浪川一也	酒井順子
4班	◎野本秀雄	池田武志	齊藤倫成	見附高PTA生活委員
5班	◎板垣秀幸	清水洋子	佐藤宏子	高橋淳一 徳永 芳
6班	◎長谷川イウ	永井藤子	田村厚子	
7班	◎徳橋良子	若杉信子	吉野敬子	

※市内の中学校、高等学校の先生6人とPTA役員5人が含まれています。



3～6月の街頭指導報告から

3月11日

見附駅のバス停に、迎えの一般車が停っていてバスの交通の妨げになっていた。マナーを考えてほしい。いつも思うが、注意を促すよい手立てはないものか。

高校入試の日だった。笑顔で電車から降りてくる中学生が多く見受けられた。「ゆっくり休みなさい」などの声を掛けた。

3月12日

駅裏で、下車した男子高校生に話しかけた。長岡の高校に通う2年生で、学校生活と家族のことを話してくれた。進学に向けて頑張っているとのこと。願いが叶って目標をつかまえられるよう激励した。

3月15日

自転車の無灯火運転を見かけたので注意の声を掛けた。素直に「分かりました」と応じてくれた。

4月22日

新年度になるといつも高校生の態度が気になる。駅前広場を歩道を歩かずロータリーを直進してくる。今日も3組見られ、声を掛けた。安全のため歩道を歩いて欲しい。

駐輪場から道路に出る所で左右確認をしないで飛び出す自転車が多い。この場所も危険である。

高校生が帰ってくる時間帯は、駅前広場がバスが入れないくらい迎えの車でいっぱいになる。駐車できる場所がないのは分かるが、かなり危険である。

4月25日

見附駅入口で、それほど寒くなかったからか、女子高校生のグループが“ジベタリアン”をしていた。見苦しいので、「他の方の邪魔になるから早く帰りなさい」と話しかけた。新学期になって友達同士の語らいなんだろうと思うが、若者の心の有り様が気になった。

5月14日

見附駅横の空き地に、たばこの吸い殻、空缶、空瓶などがたくさん捨ててあった。吸い殻のポイ捨ては、空気が乾燥するこれからの時季は火事の危険がある。危ない。

電車乗降の学生は、服装、態度ともきちんとしていた。高校1年生のフレッシュな姿がよかった。

6月11日

見附中学校区の新潟地区を巡回し、街路灯の確認をした。消えているところはなかった。

6月12日

メジャーロードは相変わらず人が多かった。しかし、親子連れは見られず、よかった。

6月14日

プラント5で親子連れを何組も見かけた。夕食後に外出しているのか、とても心配だった。

青少年指導員は、名札(指導員証)と腕章を着けて街頭指導に当たっています。

悪い行為を注意するだけでなく、道行く青少年をあたたく見守ります。